巻頭特集

45年の歴史と展望

桑名市商店連合会青年部

昭和50年に設立された桑名市商店連合会青年部は、今年で45周年の節目を迎えました。コロナ禍により、例年行ってきたイベントが軒並み中止となるなか、桑名を何とか盛り上げようと今年11月にはシティマラソンを開催する予定です。地域のために頑張る青年部の魅力と今後の展望を山下陽平部長、加納優思副部長、水谷将副部長、林雅也副部長の4人に尋ねました。

山下陽平部長

水谷将副部長

加納優思副部長

林雅也副部長

1 2019年度「研修旅行」
2 2019年度「研修事業 スマイルトレーニング」
3 くわな楽市成功の為に全員で取り組んでいます

40歳以下の経営者が集まり「商連くわな楽市」などを開催

山下 桑名市商店連合会とは、桑名で商店を営んでいる経営者の集まりです。なかでも青年部は、40歳以下の若手経営者による組織で、会員数は毎年75名前後で推移しています。20代後半から30歳前後にかけて独立を機に加入する方が多く、さまざまな業種の方がおみえになります。

加納 桑名市商店連合会は、桑名市独自の団体であるのが一番の特徴です。商工会議所や青年会議所のように全国組織の地方支部という位置づけではないため、制約が少なく、より自由な活動を展開することができます。

水谷 そうですね。どちらかといえば大企業ではなく中小企業といった感じでしょうか。やりたいことがあれば機敏に動いて実行できる。地域に対する自分たちの思いを形にしやすい点が魅力だと思います。

林 青年部が主催するメーンのイベントが「商連くわな楽市」です。毎年一般の桑名市民の皆さんにもたくさんご来場いただいています。

山下 「商連くわな楽市」は、「桑名にもこんな魅力的なお店があるんだ」と感じてもらえればと思って運営しています。商連の皆さんは、この地域で商売をされている方ばかり。みんなで知恵を持ち寄りながらイベントを盛り上げています。

桑名の町を盛り上げるべく知恵を出し合いイベントを開催

山下 「商連くわな楽市」は毎年10月半ばの行楽シーズンに開催していますが、その準備は年度初めの4月から進めています。

加納 経営者の皆さんが時間を割き、大きな予算を動かして準備する大規模イベントだけに、実行委員長は吐きそうになるぐらい大変です(笑)。その一方で、学園祭の大人版みたいな楽しい雰囲気もあり、メンバー同士の結束を強く感じられるのが魅力です。

山下 確かにしんどい場面もありますが、大人になるとなかなか味わえない貴重な時間じゃないかなと思いますね。今年は45周年記念のイベントを企画していますが、やっぱり委員長は大変ですよね?

林 そうですね(笑)。私が担当副部長を務めていますが、企画会議で100個の案を出すところからスタートしました。そこから徐々に絞りこんでいき、最終的に決まったのが桑名市内を巡るシティマラソンです。

山下 新型コロナの影響が続くなか、地域を盛り上げるイベントを考えるのは難しかったですよね。

林 ええ。モニュメントを作るという案もありましたし、45周年なので45mの安永餅を作ろうという企画もありました。これは「コロナ禍でお餅を作って食べるのは難しい」という理由で断念しましたが…。

山下 餅屋さんにも相談してみたんですけど、さらっと「マラソンでいいんじゃない?」と返されましたよね(笑)。コロナがなければ実現できたんですけど。

加納 50周年の時にはぜひ5m足して実現したいですね!

林 45周年記念のシティマラソンは、11月21日に開催予定です。揖斐川の堤防沿いにコースを設定していて景色もきれいですし、ガチにタイムを競うものでもありませんので、ぜひたくさんの方に参加していただけるとうれしいです!

山下 手を抜けばもっと簡単にイベントを開催できるかもしれませんが、みんな決して妥協しない。1年で役員が変わっていくので、何かを残したという思いが強いのかもしれませんね。

「商連を面白く」という思いを若い世代にも継承していきたい

山下 商連はこの45年間、その時代ごとにうまく変化しながら続いてきた組織だと感じています。私たちもすでに30代後半となり、10歳以上も離れた若い人たちが徐々に増えていく中で、先輩たちから受け継いできたものをどのように伝えていくかが大きな課題だと考えています。今も昔も変わらない商連の良さは、「自分たちで面白くしていく」ということ。これは今後も継承していってほしいですね。

加納 そうですね。これからも「商連を楽しく」という姿勢は続けてほしいです。私たちも、若い世代の皆さんと積極的に交流を図っていきたいですし、青年部の上の世代とのパイプ役も担っていけたらいいな、と。

林 私自身、青年部に加入したことで、同世代の経営者との強いつながりができました。大人になってから何でも悩みを相談できる仲間ができる。これは本当に貴重だと思います。経営者同士、楽しみながらお互いに高め合うことができる。ぜひもっと多くの方に商連の魅力を知っていただけたらと思います。

水谷 商連の魅力は3人がお話しされた通りですが、こういった魅力を全員が感じられるような組織にしていかないといけないと思います。世の中が激しく変化するなかでも、青年部が変わらず大切にしてきた思いをきちんと繋いでいく。5年後も、10年後も、その時のメンバーが同じように魅力を語れる青年部でありたいなと思います。

山下 年齢に関係なく、同じ経営者としてお互いにリスペクトしあえる。こうした信頼関係は今後も続いていってほしいなと思いますね。商連に加盟している商店は、桑名市内にたくさんあります。ぜひ「ぽろんくらぶ」の読者の皆さんには、地域で頑張っているお店に目を向けていただき、この桑名を一緒に盛り上げていただけたらうれしいです!

桑名市商店連合会 青年部のあゆみ

- 昭和50年　桑名市商店連合会青年部設立
- 昭和61年　青年部設立10周年記念事業「くわな、おもしろバザール」「㈱赤福 濱田益嗣講演会」
- 平成3年　青年部設立15周年記念事業「桑名 商人塾」開催
- 平成23年　青年部設立35周年記念事業「くわな楽市～日本の元気を桑名から～」
- 平成28年　青年部設立40周年記念事業「ギネス記録世界一への挑戦!」
- 令和2年　「商連くわな楽市2020 上を向いていこう!」

文/平井基一　写真提供/桑名市商店連合会青年部　デザイン/chica